

◆ニックネーム・グループ名（人数）

リンリン5（5人）

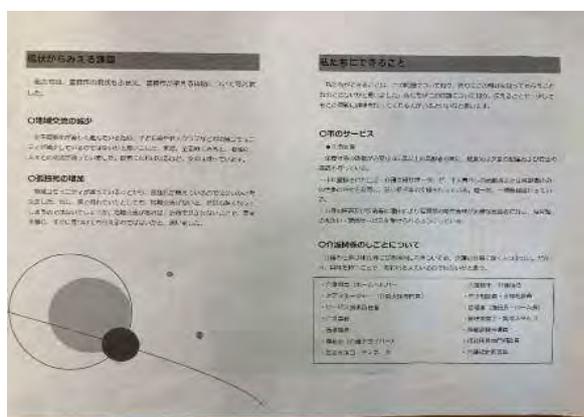
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 内助の功 -自分たちの未来のために-

活動の動機

高校の現代社会や家庭科の授業で、日本の抱える課題の1つとして少子高齢化があることを学んだ。そこで、私達の住む豊橋市の現状や取り組みを調べ、私たちにもできることはないかと考えた。



取組・活動 実施日

令和3年7月29日から令和3年10月28日

ゴール

1 3 11

解決したい地域の課題

現在豊橋市の平均年齢は44.6歳。少子高齢化が進んでいる町といえる。高齢者世帯が増え、要介護・要支援者も増加している。これらの問題を解決するための資金難や認知不足が課題だといえる。

目指す将来の姿

日本は少子高齢社会への道を歩み続けており、このままでは日本社会は衰退していくと考えられる。それを未然に防ぐために、今の若者が現状をしっかりと把握したうえで、地域交流の活性化や少子化対策に取り組む必要がある。そうすれば、将来は誰もが生活に困ることのない、充実した理想社会を実現することができる。

活動の内容

上記で述べた課題についてグループで調べ、まとめることにした。その結果、より具体的に問題点が見え始め、さらに豊橋市を生活圏とする私達の問題意識の低さがわかってきた。そこで、少しでも今の豊橋市の課題について生徒に知ってもらうため、豊橋市の課題をまとめたレポートを作成し、周知するよう努めた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

チームE （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル やさしっ！ふくしっ！とよはしっ！

活動の動機

豊橋では死亡原因の約半数が、生活習慣病であるというデータを見ました。そこで私たちはそれぞれの人が日常的に気軽に取り組むことのできる生活習慣病の予防策を考えてみようと思ったからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月から10月

ゴール

3

解決したい地域の課題

生活習慣病になる人の中には運動不足であった人が多くいます。その中でも私達が問題視したのは30~40代の女性のうち、日頃運動することを心がけている人は全体の2割以下だということです。

目指す将来の姿

生活習慣病は日々の生活で予防できるものと言われています。どの世代の人達も日常的に運動することを習慣化して、同時に単に長生きするのではなく健康寿命ものばしていけるような生活をしていくことができる町を目指したいです。

活動の内容

各世代にあわせた運動が、個人の体の状態にあわせた運動メニューを考えて、各自で実践しました。写真にもあるように、誰でも気軽な取り組めるメニューを考えました。実際に協力してくれた人達からは、各々の身体の悩みが少しずつ改善されたという声もありました。このメニューを実践することで運動不足解消や生活習慣病の予防につながるので多くの人に是非、実践していただけたら嬉しいです。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

higashi's キッチン（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

「疲(つ)れ疲(づ)れなる前に」健康法師

活動の動機

私たちは、豊橋の健康づくりの取り込みに興味を持ちました。将来を考える学習を通して、近未来のみならず、より先の未来を考えるようになったからです。またSDGsという取り組みに貢献したいと強く思うからです。



取組・活動 実施日

令和3年8月2日から令和3年8月12日

ゴール

3

解決したい地域の課題

私たちの地域である豊橋市の健康の問題は、市の財政の多くが介護費や保険給付費に使われていることです。そしてその理由の1つが生活習慣にあることです。これは将来、健康寿命の減少につながると考えられます。

目指す将来の姿

一人一人が健康に気をつけ、健康な生活を自ら手に入れることです。そして、市の財政がより暮らしを豊かにするものに使われることです。この実現はすべての人が高い意識を持つ必要があります。高齢者だけでなく子供も大人もみんなで取り組むことで、より健康な人が多くなると考えるからです。

活動の内容

私たちはまず、健康づくり応援団で提示されている一定基準以上の栄養素の含まれた料理を作ってみました。カルシウムを400mg以上含む料理を作ろうとしました。次に健康づくり応援団加盟店の料理を食べに行きました。そこでは彩り豊かな、加えて栄養もとることのできる料理が提供されていました。自分では栄養を摂りにくくても、お店で摂れるのはありがたいなと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋東7組2班 （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル インフォピアに行ってきた！

活動の動機

現在、新型コロナウイルスの影響で日本経済は大きな打撃を受けている。この混乱の中、支援金、ワクチンの申請の書類などを外国人達は私達日本人のように円滑に取り組んでいるのか活動を通して調べることにした。



取組・活動 実施日

6月中旬から10月下旬

ゴール

3 11 16

解決したい地域の課題

現在、日本語が分からないために生活に苦勞している外国人のための相談窓口はあるのに、その存在を知らない人がいる。そこで私達はこの窓口を知ってもらい外国人が少しでも住みやすいまちにするべきだと思った。

目指す将来の姿

外国の方と接すると聞くと、大変なことのように感じる人が多いと思う。しかし、外国人など関係なく、同じ人として優しく接することが1番だ。優しく接したら外国の方は日本のことを知ることができて、日本を好きになってくれるかもしれない。この循環を基に誰もが心地よく住める地域を目指すべきだと思う。

活動の内容

私達は、豊橋市国際交流会を取材した。そこで、相談員の五十嵐さんと周さんにインタビューをし、現在の豊橋市に住む外国人の状況、インフォピアは外国人からどんな相談を受け、どう対応しているのかを聞いた。相談員の方はとても優しく対応してくださり、外国人がいつも受け取っている問診票などの書類や現状を表したデータを見せてくださり、現状の問題点やこれからの解決策を分かりやすく教えていただいた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋まちづくり隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

豊橋駅前の改善して欲しいところ

活動の動機

豊橋駅前は通勤や通学で毎日利用する人が多い場所にも関わらず、気になる点が多く見つけた。より使い心地がいい場所にするためにどのように改善した方がいいのかを考える必要があったと思います。



取組・活動 実施日

令和3年6月3日から令和3年10月28日

ゴール

11 3 17

解決したい地域の課題

駅の付近は駐輪場が少なく違法駐輪で歩行者が困っていること、ゴミ箱が少なくポイ捨てが目立つこと、道が複雑で歩行者と自転車が危険になるような場所があるという課題を見つけました。

目指す将来の姿

駅を利用する人が駅家駅前の危険な所を確認して事故を未然に防ぐことができ、また、駅を利用する人が感じる不便さや不快感を共有して報告することで、駅を利用する人が暮らしやすいように改善されていく、制度の確率。

活動の内容

私たちはより多くの情報を集めるため、自分たちの身近な幅広い年代の人に豊橋駅がこうなったらいいなと思う所をインタビューしました。そして私達も理解を深めるために実際に豊橋駅に行き、改善点を見つけてきました。その中でも、特に駅付近に駐輪場を増やして欲しい、ゴミ箱を増やして欲しいという意見が重要だと分かりました。市民の意見から気になった点を取りあげてマップにしました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

目指せ事故0！（4人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

目指せ事故0！

活動の動機

愛知県は全国的に見ても交通事故が多く、自分が加害者や被害者にならないように、どのようなことに気をつければいいか様々な年代の方の視点を聞き、自分たちにできることはないか考えるきっかけにしたいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年7月28日

ゴール

3 6 11

解決したい地域の課題

地域の方々から度々指摘される自転車のマナー違反を解決したい。飛び出しや信号無視、車が多く通る所での危険運転などによる意識すれば防げる事故などの課題解決に努めたい。

目指す将来の姿

愛知県は事故が多いため、地域住民全員が、交通事故などの危険をしっかりと理解し、子供からお年寄りまで、ルールを守って安全に過ごせる街を作っていきたい。交通ルールがある理由をしっかりと考えて行動することで、自己のない社会を目指していきたい。

活動の内容

今回、危険な場所だと思う所実際に行って見て、なぜそんなに危険なのかについて考えました。また大人にどんな時に危ないと感じるか、交通事故防止のために子供に守ってほしいことについてアンケートをとりました。運転手側と歩行者側が危険だと感じるところがほとんど一致していたため、どちらかが注意をするのではなく、どちらもお互いのことを考えて自分も相手も安全に過ごせるようにする必要がありました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

安全安心隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 豊橋駅周辺の人混みについて

活動の動機

新型コロナウイルスが流行し、これまで、何度も緊急事態宣言が発出されている。感染の危機感が薄れつつある状況の中、豊橋市の健康のために何かできることはないかと思い、調べることにした。



取組・活動 実施日

令和3年8月12日から令和3年8月14日

ゴール

3 11 16

解決したい地域の課題

新型コロナウイルスの第5波では、豊橋市の感染者が約500人になり、至るところに危険が潜んでいる。そこで、感染者数の増加を防ぎ、より安全に生活できるようにしていくことが課題である。

目指す将来の姿

現在、人類はコロナ禍という自然の猛威にさらされている。人類がこの強敵に打ち勝つためには、コロナから逃げるのではなく、現状を知り、当事者意識をもって立ち向かっていく必要がある。皆が周囲に気を配った行動をして、コロナ禍の収束を目指したい。

活動の内容

豊橋駅の東口を通る人数を、6時、12時、18時の3回に分けて3日間計測した。6時では、毎分約110人が通り、通勤や通学の人が多かった。12時では、毎分約50人が通り、今回の調査では最も人通りが少なかった。18時では、毎分約100人の人が通り、駅内へ入っていく人が多く、駅周辺よりも、駅内の混雑が多かった。全員がマスク着用しており、間隔を空けて歩く様子も見られた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

ハヤト倶楽部（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

高齢者の健康の保持増進のためにできること

活動の動機

総合の時間に、健康、医療、福祉について考える機会があり、少子高齢社会と言われている現代で、私たちも豊橋市で生活していて少子高齢化を感じていたので、解決したいと思った。



取組・活動 実施日

令和3年6月から令和3年10月

ゴール

3 11 4

解決したい地域の課題

近来、豊橋市は高齢者人口が令和24年、要介護認定者数は令和21年にピークに達すると予測される。また、介護が必要となる原因は生活習慣病が多い。したがって高齢者の健康を保持増進させる活動整備が急務である。

目指す将来の姿

高齢者への介護サービスを安定して提供し続けることができる社会整備をするとともに、高齢者自身が健康増進のための活動を積極的に行ったり、地域で健康増進を目的としたイベントを開催したりする。これにより高齢者の健康寿命をのばし、要介護高齢者の人口を減少させ、全世代の人が安心して生活できるようにする。

活動の内容

1つ目は豊橋市で高齢者の健康の保持・増進を目的として活動するゆたかクラブについて、定期的にグラウンド・ゴルフ大会やボウリング大会などを開催していることや、その他にも高齢者の社会参画を促すような活動を行っていることが分かった。2つ目に、健康増進アプリを企画した。生活習慣病を改善するために日々の歩数を計測し、ポイント制で豊橋の特産物を景品としてもらえるシステムのアプリを広めていくことを提案する。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋歩き隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル みんなで歩こう！健康の道

活動の動機

健康の道を歩くことで、健康の維持、向上を図りたい。また、若い世代の利用者が少ないため、実際に歩き、健康の道について発信することで若い世代の利用者が増え、健康の道がふれあいの場となったらいいと思った。



取組・活動実施日

令和3年8月10日から8月20日

ゴール

3 11 17

解決したい地域の課題

健康の道についてアンケートを行ったところ、健康の道を知っている人が学年で約30%という結果だった。それを受けて、まずは健康の道の存在を知ってもらう必要があると考えた。

目指す将来の姿

普段運動をしない人や高齢者が、1日たった数分歩くことで、運動不足の解消や生活習慣病の予防に効果がある。また、歩きながら地域の施設を利用したり、交流することのより、地域の活性化や防犯にも繋がる。若い頃から歩く習慣をつけることで、健康寿命を延ばすことはもちろん、文化や地域住民との共生を目指したい。

活動の内容

私たちは健康の道を実際に歩いた。歩いてみると、歩きがいがあり、とてもいい運動になった。しかし道が狭くて歩きにくいなどの危険な場所があった。また、道がわかりにくい所がいくつかあった。これらを解決するために、道を整備したりマップや看板を充実させれば、より多くの人に親しんでもらえるような場となるだろう。また、コースの種類を増やしたりイベントを開催したりすれば、より多くの世代の人にも親しまれるだろう。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

豊橋東介護センター（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

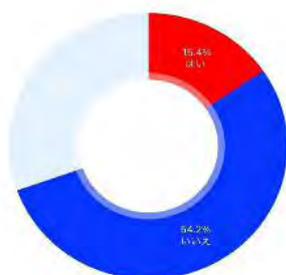
豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 全ての人に健康と福祉を

活動の動機

ここ最近、老々介護という言葉を目にする機会があります。豊橋市の公開するデータからも老々介護が多いことがわかりましたが、自分たちにどれだけ身近な問題なのか、学生に広く知ってほしく活動しました。

現在、家庭で祖父母と住んでいますか？



■ はい ■ いいえ ■ 不明

取組・活動実施日

令和3年6月2日から令和3年10月28日

ゴール

3

解決したい地域の課題

地域には一人で住んでいる高齢者が多いということに気づきました。このことは、介護の必要性や孤独死の恐れがあるということなので、私たちの祖父母がどのような環境におかれているのか調べ、考えました。

目指す将来の姿

過去のデータや、我々のアンケートの結果から見ても、この先、少子高齢化は進行し続けていくと思います。そのため、それに伴って増加していくと思われる老々介護や孤独死などの可能性を減らして、高齢者でも満足した生活を送っていきける、社会保障が充実したよりよい社会を目指していきたいです。

活動の内容

1問目より、祖父母と同居している人が少ないとわかり、そのことから老々介護問題についてあまり身近な問題と考えていないことや、関心がないのかもしれないと考えました。また、2問目より、祖父母の家に近いところに住んでいる人も多くいるということもわかり、いざという時には行ける体制が出来上がっているなど思いました。このことから、もっとこの問題について関心を持つことが必要だと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

みなわしも（5人）

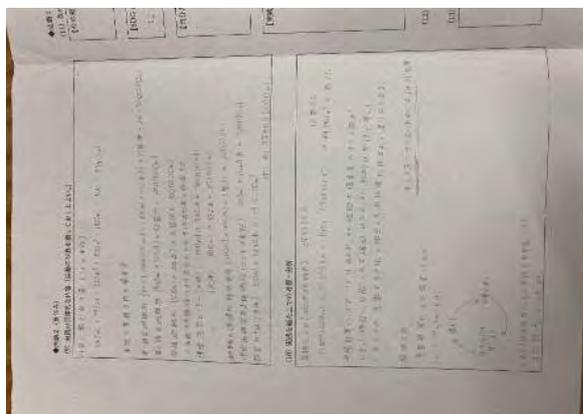
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 地震による水問題

活動の動機

授業の一環で豊橋の安心安全について調べることになりました。その中で、私たちは東日本大震災の水問題に着目しました。そこで、豊橋市民に必要な水の備蓄はどのくらいなのか活動を通して調べることにしました。



取組・活動 実施日

令和3年8月10日から令和3年8月13日

ゴール

3 6

解決したい地域の課題

東日本大震災の時、水道の断水により水を確保することが困難だったことを知りました。南海トラフ巨大地震が起きた時にも水道の断水は起こるかも知れません。そのため地震の時に起こる水不足の問題を解決したいです。

目指す将来の姿

災害が起こった際の食糧不足は東日本大震災や熊本地震の際に大変な問題となりました。せっかく災害からは助かり避難所に着いたのに、避難所で健康を損ね災害関連死が増えては意味がありません。多くの命が助かるために一人一人が意識を高め、多くの人に『自分で備蓄しておくことの大切さ』が広まればいいと思います。

活動の内容

グループのメンバー全員で夏休み3日間の飲料水の摂取量を調べ、平均を取りました。そして、実際の豊橋市にある避難所の飲料水備蓄量、市民一人あたりにある水の量を計算して比較しました。しかし、飲料水以外の使用用途を考慮しなければならないこと、市民全員が等しく水を貰える訳ではないこと、避難所にある備蓄量の方だけの方が綺麗に分散することはないことなどに改めて気づき、私たちでもできることを探し、話し合いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

イクオリティー（10人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル バリアフリーでストレスフリー！！

活動の動機

健康な身体を持つ自分達には分からない、体の不自由な方が感じる不便な点を理解し、より良い豊橋をつくる為に私たちには何ができるのかを考えていくきっかけとなれば良いと思い、調査を開始した。



取組・活動 実施日

8月3日

ゴール

3 11

解決したい地域の課題

豊橋駅の周辺には、車いす利用者がつまづいてしまうような公道があったり、バリアフリー化の遅れが見られたりと、対策が必要である。豊橋市が高齢者や体の不自由な人にとって住みやすい街に変わる必要がある。

目指す将来の姿

豊橋が誰にとっても住みやすい街になるように、ノーマライゼーションの考え方に基づいてバリアフリー化を進めることや、困っている方に手を差し伸べることが必要である。一人一人が思いやりを持って行動することで、やさしさの溢れる共生社会を目指したい。

活動の内容

車いす利用者の役と目の不自由な人の役を設け、東高校から豊橋駅へバスで移動し、豊橋駅の周辺を散策した。その際、多目的トイレ、エレベーター、スロープの利用、電車の切符の購入などを通して、公共の場にあるバリアフリーを体験した。その他にも、公道に出て車いす利用者の目線から危険な場所を調べ、健常者には分からない街に潜む障壁を探した。その発見を通して、班員で快適に過ごせる街づくりについて話し合った。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

スポーツ促進隊（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 誰でも使える公園探し

活動の動機

コロナ禍で、小中学生の部活動の停止などにより、運動の機会を失っているのが、多くの人たちが運動不足に陥っているのではないかと思います。自分たちにできる活動があるかを考え、調べてみました。



取組・活動 実施日

令和3年8月3日

ゴール

3 11 16

解決したい地域の課題

小学生・中学生の部活の停止をはじめとして、高校生でさえも運動する機会が減っています。運動不足は健康に害を与えるので、地域全体として健康を保つために運動する習慣をつけることが必要だと思いました。

目指す将来の姿

みんなが健康で、地域で仲良く暮らしていけるのが目指す将来の形です。例えば、地域でスポーツの大会や、レクリエーションを催し、それを通して、人々の交流が増え、高齢者の生きがいに繋がります。また、若い人が参加することによって様々な年代交流することができ、地域の活性化が期待できます。

活動の内容

私たちは、運動不足解消のために幅広い年代が使える公園、またそこで人々が何をしているのかをいくつかの公園に行って調べてみました。高師緑地公園、運動公園、万場調整池に行ってきました。実際に行ってみると、たくさんの子供たちが遊具で遊び、歩いたり、走ったりしている人も多く見えました。たくさんの方が利用していたので、これからも持続的に活用して欲しいと思いました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

なののさんはん（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

知ってみよう！防災マップからみる豊橋

活動の動機

オリジナル防災マップを作るに至ったきっかけは、殆どの人が災害、緊急時の避難場所を知らないのではないかと考えたためである。また、分かりやすいマップを作り、より地域について知ってもらいたいと思った。



取組・活動実施日

令和3年10月28日

ゴール

11 3 16

解決したい地域の課題

高校生は災害、緊急時に率先してお年寄りや子供を誘導し動くべき立場であるにも関わらず校内約70%がAEDの場所を知らず、約90%が避難場所を知らないため、人を助ける以前に自分の身すら守ることが出来ない。

目指す将来の姿

各々が災害時に焦らず、冷静に判断できるような地域にしたい。回覧板などで防災バックの中身をリスト化し、各家で準備する。それを地域の防災訓練へ持っていき、中身を確認する。また、仕事場と家にいる時と最低2つの避難場所を把握しておく。これらを実行に移すことで目指す将来の形が見えてくるだろう。

活動の内容

学校内で豊橋駅周辺の避難場所を知っているのは約10%。学校外でAEDがある場所を知っているのは約30%。防災バック、非常食を家に常備しているのは約60%という結果になった。この結果より、生徒たちの多くが災害、非常時に助けられる立場でないため、豊橋駅周辺の避難場所やAEDの場所について知ってもらいたいと思った。そこで、自分達でオリジナルの誰でも見やすい防災マップを作った。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

RYN （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

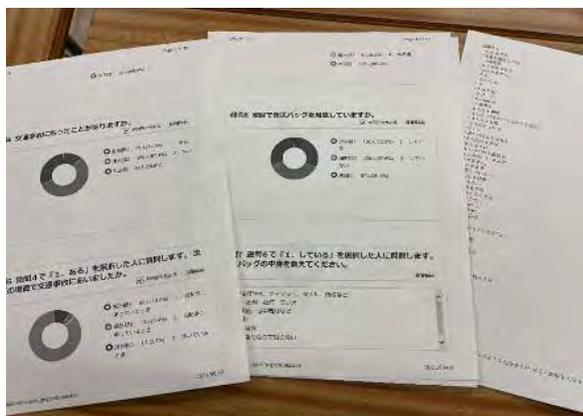
豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

豊橋で安全安心に暮らすための取り組み

活動の動機

私たちの住む地域では将来大きな災害が予想され、その時来るのが遅くなればなるほど高齢化が進むことになる。その時、防災減災において私たちの役割は大きくなるので、私たちの意識を高めたいという動機。



取組・活動 実施日

令和3年9月9日

ゴール

11 3 16

解決したい地域の課題

日本ワースト1の事故率や南海トラフ大地震を筆頭に懸念される災害への対策、それに対応する地域のつながりの強化。

目指す将来の姿

10代から20代の若い世代の防災、交通事故対策の意識の向上と実行意識を持つ。交通事故や災害について起こり得る現状を知り、対策方法を自ら考えることのできる人、実際に行動に移すことのできる人を育成する機会を設ける。身の回りの危険に気づいた人が協力を求めることのできる手段をつくり、市民が助け合う豊橋市。

活動の内容

意識調査をとして校内でアンケートを実施した。防災面では、防災用の備蓄の有無、また何日分の備蓄をしているのか、ハザードマップをみたことがあるか、交通事故では交通事故の経験があるか、どの場面であったかを調査した。防災バッグを用意しているのは全体の3割、交通事故の経験がある人は1割だった。家族人数の3日分を備蓄していて高い意識を持っている人もいるがまだまだ意識の低い人が多いという結果になった。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

East Walking Group （ 5 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル

とよはしあるき-健康づくりの旅-

活動の動機

豊橋市民の健康に着目し、簡単に楽しくできる健康づくりとしてウォーキングをしようと思いました。コロナ禍で中止となる企画は多いものの、豊橋の魅力再発見しながら歩ける企画が必要だと考えました。



取組・活動 実施日

令和3年8月10日、令和3年8月12日

ゴール

3 12

解決したい地域の課題

豊橋市を含め、現在日本では高齢化進行しており高齢者の健康維持がより重要になってきています。また、豊橋の魅力はまだ知らない人もいます。そんな人達に魅力を知ってもらう必要があると思いました。

目指す将来の姿

豊橋の名所を巡る健康ウォーキングコース作ることによって、豊橋に住んでいる人だけでなく、他の市や県に住んでいる人がこのウォーキングコースで歩いて平均寿命が長い豊橋市を目指します。また、名所を巡ることによって、多くの人が豊橋市を訪れ、今以上に活気のある豊橋市を目指します。

活動の内容

班で2手分かれ、豊橋駅周辺と二川駅周辺を歩いてウォーキングコース設定しました。祖父母と一緒に歩くことを想定して実際に歩きました。豊橋駅周辺コースでは、豊橋駅→豊橋公園(吉田城)→豊橋駅という順番でまわります。二川駅周辺コースでは、二川駅北口→二川宿→桜並木→二川駅南口順でまわります。実際に歩いてみないと分からない街並みや、歴史を感じることができ、知らない豊橋の一面を知ることが出来ました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

SMAP （ 5 人）

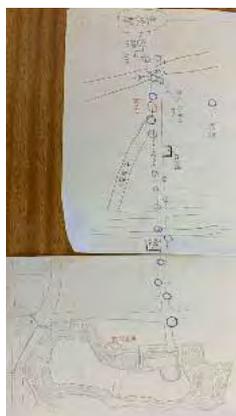
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル SD地図

活動の動機

皆さんは南海トラフ地震についてどのくらい知っていますか。現在、南海トラフが30年以内に起きる可能性は80%と言われています。そこで、通学路にある防災機器や危険な場所について調べてみることにしました。



取組・活動 実施日

令和3年8月16日

ゴール

11 3 16

解決したい地域の課題

災害は、いつどこで起こるのかわかりません。しかし、地域の避難場所や災害時の対処法を知らない人は多くおりとても危険です。そのため、避難場所や防災機器がある場所を多くの人に知ってもらうことが課題です。

目指す将来の姿

私たちの作ったマップを見ると、避難場所や防災機器の場所を知ることができます。そのように、避難場所や防災機器の場所を把握していれば、もし登下校中に災害が突然起こったときでも、適切な対処ができます。そのように、子どもや学生でも自分で自分の身を守り、また、他の人も助けることが社会を目指したいです。

活動の内容

私たちのグループは、登下校中に災害にあったときを想定し、東高校から豊橋駅までの道のりを歩き、通学路上の防災機器や危険な場所を探しました。すると、消火器はおよそ50m間隔、場所によっては見渡すといくつも目に入るくらい通学路には多くの消火器があり、大池には備蓄食料や応急資材が入っている防災倉庫がありました。そして、その場所を知って自分の身を守ることができるように、詳しい場所を地図に記しました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

防災少年団（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 防災意識の改善に向けて

活動の動機

最近、ハイチの大地震や静岡県の上砂崩れなど自然災害が多発しています。また豊橋市は近い将来南海トラフが来ると言われているので、私たちも対策するべきだと思い活動を始めようと思いました。



取組・活動 実施日

令和3年7月17日 令和3年8月29日

ゴール

3 11 17

解決したい地域の課題

避難する人々への十分な食料が用意されておらず、食料不足の可能性があること。布団などの食品以外の物資が不足し快適に過ごせない可能性があること。

目指す将来の姿

避難生活をする上で、周りの人々に頼るだけではなく皆がお互いに助け合い、快適に生活できる町を作る。また、それを達成するための設備や環境(避難所の安全性)などがしっかりと確保されている状態を確保する。皆がボランティアに積極的に参加したり困っている人を手助けできる人である町となる。

活動の内容

皆の避難に対する意識の高さを調べるために、学校の生徒を対象にアンケートを取りました。その結果、防災用の備蓄をしていない人が4割を超えていることがわかりました。ですが、調べてみると避難所にある食料が3日分であるのに対し、災害によって止まってしまった水道などが復旧するのに1週間程度かかることがわかりました。活動を通して、市民一人一人が備蓄を用意することの大切さを学びました。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

あらかじんと愉快的な仲間たち（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 歩いてみりん！「健康の道」

活動の動機

コロナ禍で人との接触が懸念される今、運動不足による健康不安はどの世代にも起こりうる。総合の授業で豊橋での身近なスポーツ施設の少なさを実感し、運動の機会を増やすために「健康の道」をPRしようと思った。



取組・活動 実施日

令和3年8月6日から令和3年8月29日

ゴール

3 11

解決したい地域の課題

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、市営の体育館などの営業時間が短縮され、今まで施設を利用していただいていた人の運動量が減ったことと、市に「健康の道」があることを知っている市民が少ないこと。

目指す将来の姿

健康の道は、様々な世代が自然とふれあい、気軽に運動を楽しむことができる。実際に私達が健康の道を歩き、調査した際もたくさんの人とすれ違い声をかけてくれた人もいた。地域の輪も広がっていくと感じた。健康の道を多くの人にPRし、知ってもらうことで、豊橋の魅力や体を動かすことの楽しさに気づいてもらえると思う。

活動の内容

私達は豊橋にある健康の道という市が製作したウォーキングコースに着目した。これは歩きながら豊橋のプチスポットを散策でき、複数のコースは豊橋の様々な景色を楽しむ事ができる。そこで私達は健康の道をより多くの人に知ってもらうためにPRする事が目標にしているSDGsを達成できると考えた。そこで、私達が各コースに行き、実際にコースを歩いていた時に感じた素晴らしさや魅力を見つけ、それを1枚の紙にまとめた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

健健倶楽部（5人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 豊橋魅力発見！市内周遊スタンプラリー

活動の動機

豊橋の魅力があまり知られていないと感じたのが最初の動機です。市外の人のみならず市民でも気づいていないような興味をひく場所や催しにスポットライトを当て、豊橋をもっと盛り上げていきたいと思ったからです。


取組・活動 実施日

令和3年7月中旬

ゴール

3 11 13

解決したい地域の課題

私たちが解決したい地域の課題は豊橋市の魅力を豊橋市民もあまり分かっていないことと、豊橋市で開催している様々なイベントの存在を知らない人が多いことです。この問題は豊橋の魅力UPのために解決が必要です。

目指す将来の姿

豊橋市では多くの催しが開催されています。そこで市民同士の交流や市街の人との交流があれば、豊橋市全体として活気が生まれ、人と人との繋がりが強くなり、住み続けたい街になるのではないでしょうか。また、市外からの観光客が魅力の発信をすることで、これからも発信し続けられる街を目指すことができます。

活動の内容

私たちは自ら豊橋の魅力を探すために、豊橋周遊マップを参照にして豊橋市内を散策しました。そこで私たちは様々な豊橋の魅力に触れることができました。他の人にもこの体験をしてほしいという願いから、ある案を提案します。それはSNSへの投稿を用いた、市内を巡るスタンプラリーです。現代人がよく使うスマートフォンを有効活用することで多くの人が参加でき、豊橋の魅力も発信しやすくなるので一石二鳥だと思います。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

山崎 秀真 （ 6 人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 知って欲しい人生を改善する知識～運動～

活動の動機

コロナウイルスが蔓延し、ほとんどの人が外出自粛をしている。屋外での運動が難しくなり、運動不足が加速する中、まずは私たちの身の周りの人が、自主的に運動する機会を増やして欲しいと思い、活動することにした。

クラス(39人)の皆にアンケートを撮った結果

	自転車又は 徒歩で通学 しているか	運動部に所 属している か
はい	62%	64%
いいえ	38%	36%

全員に調査をした結果
6割以上が自転車、徒歩で通学していてさらに6割以上が運動部に所属していた

取組・活動 実施日

令和3年7月22日～令和3年8月29日

ゴール

3

解決したい地域の課題

大人になるにつれて、自由な時間が少なくなり、仲間と屋外で遊ぶということが減少していく。さらに、新型コロナウイルス感染の拡大が、それを助長してしまっていることが課題である。

目指す将来の姿

運動することの気持ちよさ、楽しさを実感して、痩せるためにめんどくさいけど運動する、健康のためにしかたなくするのではなく、自ら進んで運動するようになって欲しい。また、運動する中で地域の人との関わりや一緒に運動する仲間をつくるなど心身ともに健康な体づくりをして欲しい。

活動の内容

同じクラスにアンケートや話を聞いて、WHOが示している運動量に達しているのかを調べた。自転車通学をしている人は約6割ほどいた。そして、体育などもあることを考えると、十分な運動をしている人が多いことが分かった。しかしながら、大人の徒歩や自転車で通っている人は4割程度であり、大人になってからも自主的に運動することが大切であると考えた。

◆ニックネーム・グループ名（人数）

フード戦隊バンクマン（4人）

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

豊橋市高校生SDGsチャレンジ活動

タイトル 西高フードバンクボランティア

活動の動機

福祉関係の進路を志望している生徒向けに開かれた講演会で、東三河フードバンクの方の、食品ロスを減らし、誰もが豊かな食事に恵まれて欲しいという言葉に感銘を受けたため。



取組・活動実施日

令和3年10月21、22

ゴール

2 3 12

解決したい地域の課題

一人親世帯、高齢者、外国人留学生など食べ物に困る人をなくしたい、食品ロスを削減したい

目指す将来の姿

一人親世帯、高齢者、外国人留学生など、食べ物に困っている人に食べ物をとどけ、企業や福祉団体などと協力することで食品ロスを減らす。そうして、もったいないと言いつつ食品を捨てること、仕方が無いと言って食べることを諦めることの無い将来を目指したい。

活動の内容

豊橋西高校の文化祭前日、当日の2日間でPTAの方々と協力し、ダンボール12箱分もの食品や日用品の回収をしました。昨年度から2年連続で西高フードバンクボランティアを開催しましたが、昨年度よりも多くの食品、日用品を回収することが出来ました。豊橋西高校で回収された食品や日用品はNPO法人東三河フードバンクへ寄付しました。